

「気付き」を育む②

株式会社川原経営総合センター 経営コンサルティング部門 久保田 真紀

さまざまな場面でよい変化をもたらす「気付き」ですが、実際に問題が生じた時に、どのように気付きを引き出し、アイデアに結びつけていけばよいのかと悩んでしまい、結局何も浮かばず現状維持に留まってしまった、あるいは、考えてはみたもののさほど変化がなかった。そんな経験をされた方も多いのではないのでしょうか。

福祉の現場で、よく使われているブレインストーミングやKJ法は、参加したメンバーが自由にアイデアを出すことから、奇抜で斬新なアイデアが生まれやすいといわれています。一方で、個々が自由にアイデアを出していくことから、どんな思いつきが生まれるかは、やってみなければわからないといった側面もあります。

今回は、そうした手法を用いる際に、9つの質問を当てはめて考えてみることで気付きを促し、効率よくアイデアを引き出していくことができる「オズボーンのチェックリスト」を、事例を交えながらご紹介します(図)。

1 転用

現状のまま、あるいは多少加工することによって、新しい使い道がないかを考えます。

【例】デイサービスで、在日外国人の職員に「英会話教室」を開催してもらうとともに、地域住民にも参加を促す取り組み(保有能

力の転用による人材定着と地域交流の促進)。

2 応用

あらゆる分野からアイデアを借りてきて、応用することができないかを考えます。

【例】就労継続支援サービスの一環として、地域の高齢者の買い物障害のある方が代行する取り組み(大手スーパー等の買い物代行サービスの応用)。

3 変更

場所や意味、形式等を変えることにより、変化が生まれるか(誰が喜ぶか)を考えます。

【例】予定表に、個々の職員がその日の体調や気持ちを「☀️☁️☔️」のシールで伝える枠を追加し、互いに配慮しあえる雰囲気づくりを進める(メンタルヘルスの理解促進)。

4・5 拡大・縮小

時間や頻度、材料等を拡大・縮小することで、よりよい成果が得られるかを考えます。

【例】職員会議の時間をあえて短時間に設定し、時間厳守にしたことで、効率的な運営や資料づくりにつながる取り組み(効果的な縮小により時間意識を高める)。

6 代用

場所や方法、材料等を他のもので代用することでよりよくなるかを考えます。

【例】障害福祉サービス事業所の新人職員の研修内容を利用者や家族に考えてもらい、講師になってもらう取り組み(方法や主体を代用することでサービスの理解を深める)。

7 置換

配置や順序、頻度等をばらばらにしてみたり、入れ替えたりしてみたりして考えます。

【例】通勤に便利な駅の拠点に子どもたちを集めて、地域の各保育所に送迎する「保育送迎ステーション」の取り組み(送迎の場所、順序を変える)。

8 逆転

立場や役割、考え方を左右、上下、順番を逆転してみながら考えます。

【例】施設の高齢者が雑巾や布巾を作成し、小学校の子どもたちにプレゼントする活動(支えられる側と支える側を逆転させることで、自立の意識を高める)。

9 統合

目的や場所、行事等を組みあわせることにより、さらに向上できるかを考えます。

【例】消費期限がある防災グッズを1人暮らし高齢者に配布し、定期的に訪問して交換する活動(災害時要援護者確認と日中見守り活動の統合)。

* * * * *

「活きた気付き」を生み出すためには、規則やルール、慣例、失敗した過去などはひとまず横に置いて、さまざまなアイデアを歓迎し、奨励できるコミュニケーションづくりが欠かせません。その足がかりとしてぜひ活用してみてください。

● 図

1 転用

今までとは違う
使い方ができないか

2 応用

真似できないか
似たものはないか

3 変更

変更・修正したら
どうなるか

4 拡大

より大きく、重く、長くしたら
どうなるか

5 縮小

より小さく、軽く、短くしたら
どうなるか

6 代用

何か他の物にかえたら
どうなるか

7 置換

入れ替えや配置がえしたら
どうなるか

8 逆転

逆にしてみたら
どうなるか

9 結合

何かと組み合わせたら
どうなるか

プロフィール Profile

久保田 真紀 (くぼた まき)

社会福祉士、保育士。都道府県社会福祉協議会にて、法人の経営基盤強化や施設の運営に向けた支援のほか、当事者活動支援、福祉教育にかかわる業務に従事。現在は、(株)川原経営総合センターにて、法人・施設等の設立、運営支援、職場内環境改善に向けた調査分析などに携わる。